

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 **BSG-2**

シリアルNo.

お買い上げ日

年 月 日

お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。

保証期間

対象部分 機器本体(消耗部品は除く)

お買い上げの日から1年

お名前

お客様

〒 番 住所

販売店 店名・住所

様

無効

TEL ()

上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

< 無料修理規定 >

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル

〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2392-A

スピードガン

BSG-2

取扱説明書



このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、野球やソフトボールなどの球速やバットスイング速度を表示することができます。



確認と注意

基礎知識

すぐに使う

カスタマイズして使う

専用アプリ

その他

確認とご注意

安全上のご注意 3

使用上のご注意 7

基礎知識

各部の名称と働き 9

1. 付属品 10
2. 別売品 10
3. 付属品・別売品の追加購入について 10

電源について 11

1. 電池交換（取り付け） 11
2. 別売品 AC アダプター
（OP-ADP10） 13

SD カードの装着
/ 取り外し 14

1. SD カードを本体へ装着する 14
2. SD カードを本体から取り外す 16

角度による速度検出の
影響について 17

検出モードについて ... 18

データ管理について ... 18

アイコン表示について... 19

すぐに使う

電源 ON ～ OFF までの手順... 20

1. 電源 ON 20
2. 検出モードの選択 21
3. ピッチングモード 22
4. バッティングモード 24
5. 電源 OFF 26

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法... 27

1. 設定メニューを表示する ... 27

設定項目一覧 29

1. 設定メニュー
| ピッチングモード 29
2. 設定メニュー
| バッティングモード 31
3. システム設定メニュー 33

専用アプリ

専用アプリについて ... 34

1. 専用アプリをインストールする ... 34

その他

故障かな？と思ったら... 35

仕様 36

アフターサービス 37

1. お客様ご相談センター 37

保証書裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

 **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

 **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

 **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

 必ず実行していただく「強制」内容です。

 してはいけない「禁止」内容です。

 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

 **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**
そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

 P.37「アフターサービス」

 **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

 **持病をお持ちの方や妊娠の可能性のある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

 **交通量の多い場所や車道では使用しないでください。**
事故の原因となり、大変危険です。

 **周囲の状況に十分注意を払い、移動する物体から安全な距離を確保してください。**

- ❗ 水につけたり、かけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。

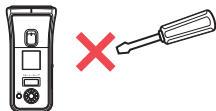
故障の原因になります。

防塵・防雨形設計 (IP53 準拠) ですが、完全防水ではありません。

- ❌ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。

内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ❌ 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ❌ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れてしないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ❌ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ❌ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れてしないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ❌ 本機を改造しないでください。故障の原因となり保証を受けることができません。

また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

⚠ 注意

- ❗ 重いものをのせたり、本機の上に乗らないでください。けがや破裂、故障の原因となります。

- ❗ バットや棒のようなものでボタン操作を行わないでください。

故障の原因となります。

- ❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



- ❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。
- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。
- ❌ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ❌ 極端な高温、低温は避け、動作温度範囲 $-5^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ でご使用ください。
- ❌ 圧力をかけないでください。
多くのものが詰まった荷物の中やかばんの底に入れると、外装や液晶表示部、内部基板などの破損、故障の原因となります。

- ⚠️ 本機は精密機械です。
静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 乾電池について

⚠️ 危険

- ❗ 乾電池を充電したり、分解しないでください。
破損や発火、故障の原因となります。
- ❗ 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り外してください。
液漏れや故障の原因となります。
- ❗ 乾電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因となります。

- ❗ 電池の極性(+)、(-)を確認し、正しく入れてください。
- ❌ 乾電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。
感電、ショートの原因となります。
- ❌ 使用済みの乾電池を火中に投げ入れないでください。
爆発して火災や火傷の原因となります。
- ⚠️ 本製品には単3形アルカリ乾電池を使用してください。

⚠ 注意

⚠ 付属の乾電池は動作確認用のサンプルです。早めに新品の電池と交換してください。

⚠ 電池を廃棄するときは、お住いの地域の条例および法令に従って処分してください。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● SDカードについて

⚠ 注意

⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源ONになっていないことを確認して行ってください。

OFF



⚠ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。
無理に押し込むと、本気が壊れることがあります。

● 周波数・電波干渉について (Bluetooth)

⚠ 注意

⚠ 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しています。この周波数帯は、産業・科学・医療関係機器、各種無線局や無線LANなど(以下「他の無線局」)にも使用されています。
ご使用中に「他の無線局」との電波干渉が発生した場合は、ご使用場所を変更するか、本機の使用を中止(電波の発信を中止)してください。

使用上のご注意

- ご使用前には必ず電池残量の確認を行ってください。電池残量が少ないと、使用中で電源がOFFになり使用できなくなることがあります。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。

■ 表示部に関する注意

- ・ 表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損だけが原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損だけが原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ 保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げ日から1年間の保証がついています。ただし、乾電池などの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。

■ 取り扱いに関する注意①

- ・ ご使用にならない場合は、電池を外してください。電池が過放電状態に電池寿命を縮めることとなります。
- ・ 指定された電池以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 本機が汚れたときは、柔らかい布で拭いてください。ポリエステルなど静電気が起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ・ 速度表示させたい移動物に合わせ、使用する検出モード(ピッチング/パッティング)を選択し、正しく設置してご使用ください。
- ・ 本機で表示される速度は、実際とは異なることがあります。
- ・ 本体センサー部の前に金網など遮蔽物がある場合、検出できる距離が短くなります。
- ・ 近距離で本体を複数台使用すると、本体どうしが干渉して正しく検出できないことがあります。
- ・ 移動する物体の軌道に対して、真横から速度を検出することはできません。
- ・ 速度を正しく表示させるために、移動する物体の軌道に対して、本体の角度が小さくなる位置(推奨: 10度以内)でご使用ください。

■ 取り扱いに関する注意②

- ・ ピッチング／バッティングの使用において、角度がある場合は、正しく補正を行ってください。(P.17)
- ・ 移動する物体の軌道に対し、本体を使用する位置の角度が小さいほど、より正確な速度を検出することができます。(角度は、上下左右ともに速度の検出に影響を及ぼします。)

■ 電波法に関する注意

本機は電波法の工事設計認証を受けた無線設備を内蔵した商品です。安心してご使用になれますが、下記事項にご注意ください。

- ・ 海外では使用しないでください。
- ・ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 電波干渉について (Bluetooth)

本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)、および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用を中止してください。
- ・ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。
- ・ 下記表示は 2.4GHz 帯を使用している製品であることを意味します。

2.4FH6

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

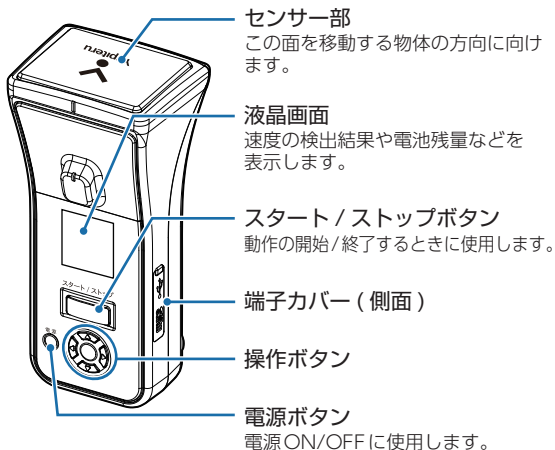
FH：変調方式が FH-SS 方式であることを示します。

6：電波干渉距離は 60m です。

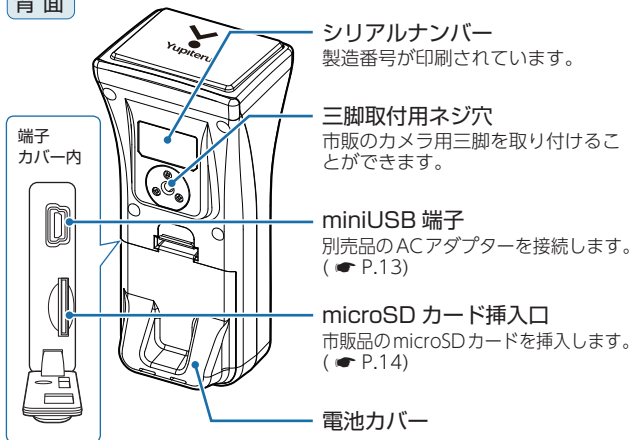
——：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可です。

各部の名称と働き

正面



背面



1. 付属品

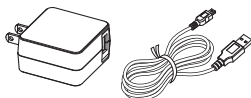
ご使用前に付属品をお確かめください。

- 収納ケース 1
- 単 3 形アルカリ乾電池 4
- 取扱説明書・保証書(本書) 1

2. 別売品

- AC アダプター OP-ADP10 : 3,300 円

AC アダプター 1
 USB 接続ケーブル (約 1m) … 1



3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・ 付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX (機種名) 用〇〇 (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・ 弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

電源について

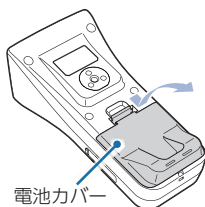
乾電池の他に、別売品のACアダプター(OP-ADP10)を接続して電源供給できます。

1. 電池交換（取り付け）

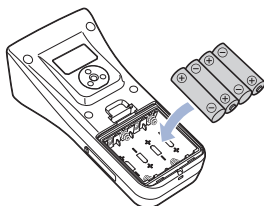
⚠ 注意

- ・ 単 3 形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- ・ 交換するときは、必ず 4 本とも取り替えてください。
- ・ 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管してください。

1-1 電池カバーを外す

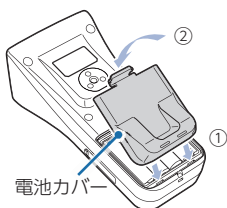


1-2 ⊕ と ⊖ の向きを間違えないように、新しい乾電池をセットする



1-3

電池カバーを閉じる



■ 電池寿命の目安：約 20 日（連続使用で約 20 時間）

※ 単 3 アルカリ乾電池 4 本で 1 日 1 時間使用した場合。

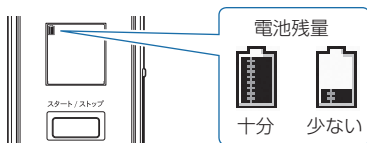
※ 使用する条件によって異なります。

※ 付属の乾電池は動作確認用のサンプルです。早めに新品の電池と交換してください。

■ 電池残量表示

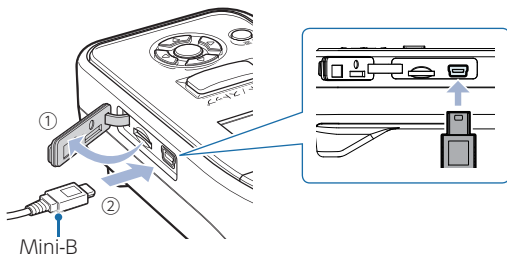
液晶画面の電池残量表示が  (少ない) になったときは、お早めに新しい電池と交換してください。

※ 別売品の AC アダプターで給電している場合は、電池残量表示は  (十分) で固定です。

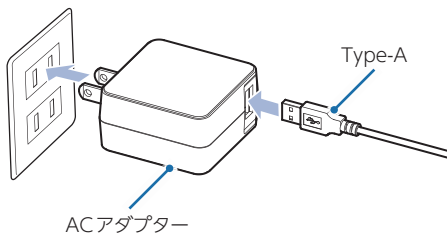


2. 別売品 AC アダプター (OP-ADP10)

2-1 端子カバーを開き、USB接続ケーブルのコネクターを差し込む



2-2 ACアダプターをAC100Vコンセントに差し込み、USB接続ケーブルのコネクターをACアダプターに差し込む



SD カードの装着 / 取り外し

本書では特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記しています。

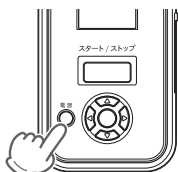
- ※ SD カードは付属されていません。データ管理 (P.18) をする際は、別途ご購入ください。
- ※ SD カードは本機専用でお使いください。
- ※ 本機と市販品の SD カードとの相性による不具合については保証いたしかねます。
- ※ 本機は、4GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。(SD スピードクラス Class 10 以上)

⚠ 注意

- ・ SD カードにアクセス中 (データ読み込み / 保存中など) は、本体から SD カードを取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ SD カードの装着 / 取り外しは、本体を電源 OFF してから行ってください。
- ・ SD カードは一方方向にしか入りません。SD カードを図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体や SD カードが壊れることがあります。

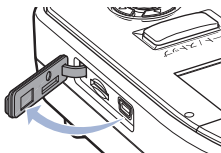
1. SD カードを本体へ装着する

1-1 電源 OFF する

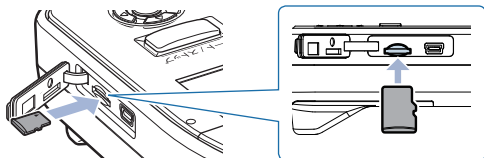


電源ボタンを2秒以上長押しで電源ON/OFFします。

1-2 端子カバーを開く

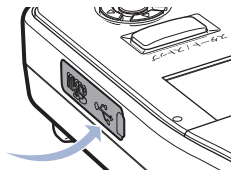


1-3 SDカードを挿入する



microSD カード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

1-4 端子カバーを閉じる



端子カバーを元どおりに閉めます。

※ 本機は、端子カバーに隙間や浮きがない状態で IP53 の防水機能を有しています。

2. SD カードを本体から取り外す

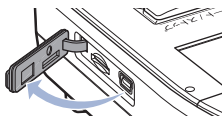
2-1 電源 OFF する



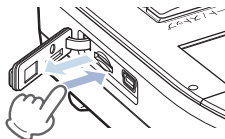
2秒以上長押し

電源ボタンを2秒以上長押しで電源ON/OFFします。

2-2 端子カバーを開く

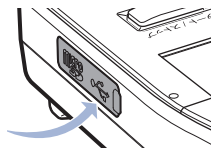


2-3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2-4 端子カバーを閉じる



カバーを元どおりに閉めます。

※ 本機は、端子カバーに隙間や浮きがない状態で IP53 の防水機能を有しています。

角度による速度検出の影響について

※市販品のカメラ用三脚を使用した設置例です。

図1

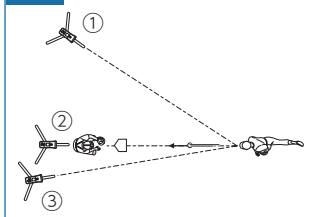
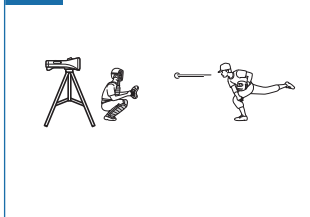


図2



① 角度が大きい

検出できないことや精度が大きく低下します。

② 角度：0°

図2のように、捕手や遮蔽物の陰にならない条件では、より正確な速度検出が可能です。

③ 角度が小さい

斜め方向補正 (P.29、31)を行うことができます。

■ 角度と速度表示との関係

移動物の軌道に対し、本体を使用する位置に角度があると、速度は遅く表示されます。

例：実際の速度が100km/hのとき、本体を使用する角度が10度ある場合、速度表示の値は、98km/hとなります。

実際の速度	移動物との角度	速度表示の値
100km/h	0度	100km/h
	10度	98km/h
	20度	94km/h
	30度	87km/h

検出モードについて

2種類のモードから使用用途に合わせた速度検出が可能です。



<ピッチングモード>



<バッティングモード>

検出モード	使用例	表示内容
ピッチング (👉 P.22)	野球やソフトボール などの球技	・ 投球の初速度 (初速) ・ 投球の終速度 (終速) ・ 初速終速間距離 (区間)
バッティング (👉 P.24)	野球やソフトボール のバッティング	・ バットスイング速度 (バット) ・ 打球の初速度 (打球) ・ 打球の推定飛距離 (飛距離)

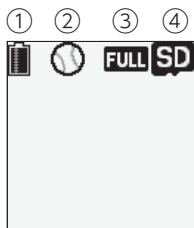
データ管理について

市販品のSDカードに保存した検出結果を、MST-1データ管理ソフトをインストールしたパソコンで管理することができます。

MST-1 データ管理ソフト (フリーウェア) やご利用方法などの詳細は、弊社ホームページをご確認ください。

(<https://www.yupiteru.co.jp/products/mst/bsg-1/soft.html>)

アイコン表示について



No.	アイコン		説明
①	電池残量表示		電池残量を2段階で表示します。 (☞ P.12)
②	モードなどの表示		ピッチングモード選択時に表示します。(☞ P.22)
			バッティングモード選択時に表示します。(☞ P.24)
			速度を検出中に表示します。
			システム設定モード選択時に表示します。(☞ P.33)
③	本機内部の記録状態		本体の記録容量がいっぱいになると表示します。
④	SD カード表示		本体にSD カードを装着しているときに表示します。
			SD カードの記録容量がいっぱいになると表示します。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記の手順に沿って操作の確認をお願いします。



⚠ 注意

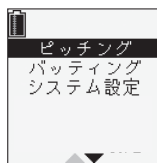
- ・本機は電源 ON/OFF に連動して Bluetooth も自動で ON/OFF します。設定から ON/OFF することはできません。あらかじめご了承ください。
- ・Bluetooth 機能は専用アプリ「BSG App」へ検出結果を送信するために使用します。本機単体で使用する場合は機能しません。

1. 電源 ON

1-1 電源ボタンを2秒以上長押しする



2秒以上長押し



<メインメニュー画面>

電源 ON になり、メインメニュー画面を表示します。

- ※ 電源ボタンを 2 秒以上長押しで電源 ON/OFF します。
- ※ 速度表示など、前回使用した画面を表示している場合は、◀(左ボタン)を押すと、「メインメニュー画面」を表示します。

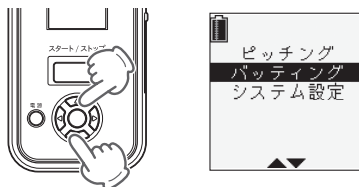
2. 検出モードの選択

使用用途に合わせて、検出モード(ピッチング/バッティング)を選択してください。

※ 液晶の画面を見ながら、ボタン操作で行います。

※ システム設定の詳細は ➡ P.33 を参照ください。

2-1 △▽ (上下ボタン) を押して、モードを選択する



選択項目が反転表示されます。

2-2 ○ (セットボタン) を押して決定する



・ 前の手順に戻る場合は
◀(左ボタン)を押してください。

選択したモードの画面になります。

- ・ ピッチングモードの場合は ➡ P.22
- ・ バッティングモードの場合は ➡ P.24

3. ピッチングモード

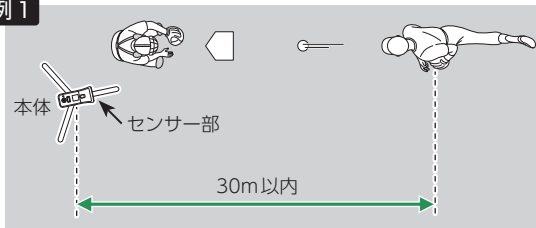
ピッチングモードでは野球やソフトボールなど、投球の初速度と終速度、初速終速間距離を表示します。

※ 区間の表示は、初速度と終速度を検出した距離感です。

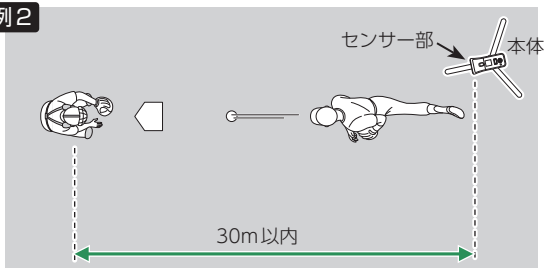
※ 以下の説明は、野球やソフトボールの投球をイメージした内容です。

設定場所について

例 1



例 2



- ※ 上図のように、捕手の斜め後方、または投手の斜め後方に本体を設置します。(安定した検出を行うために、机などの台やカメラ用三脚を使用した設置をおすすめします。)
- ※ 捕手や投手の陰になる場所に設置すると、検出できないことがあります。
- ※ 投手または捕手から本体の距離は、約 30m 以内に設置してください。(ボールの大きさや材質などにより、検出できる距離は異なります。)
- ※ 終速度をより正確に検出させたい場合は、投手の斜め後方に設置することにより、捕手 (ボールの最終地点) が見通せるため有効になります。
- ※ けがや事故の原因とならぬよう、移動する物体や周囲の状況に十分ご注意ください。

■ 使用方法

3-1 スタート/ストップボタンを押す



投球が行われるたびに、検出した速度を点滅表示します。(初期値:[連続])

- ※ 検出後、速度表示が点滅から点灯に変わり、検出結果が更新されたことをお知らせします。
- ※ 検出を終了させる場合は、スタート/ストップボタンを押してください。

すぐに使う

- ・ 初速は最初に移動物として検出した球速を表示します。
- ・ 終速は移動物として検出できなくなった直前の球速を表示します。
- ・ 区間は、初速度と終速度を検出した距離間を表示します。
- ・ 速度表示の点滅時間(初期値:[3秒])は、変更することができます。(☞ P.33「点滅時間」)
- ・ 検出結果は、記録ナンバーとともに本体に200件まで記録されます。
- ・ 電池を取り外したり、電池が消耗しても検出結果の記録は消去されません。
- ・ 本体に記録された検出結果をSDカードに保存することができます。(☞ P.29「記録保存(SD)」)

※ 速度を検出した区間が短い場合など、瞬間の速度しか検出できないときは、「0」や「---」で区間表示をすることがあります。

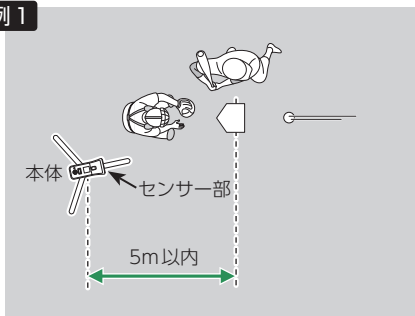
☞ P.26「電源OFF」へ進んでください。

4. バッティングモード

バッティングモードでは、野球やソフトボールにおけるバットスイング速度、打球の初速度、打球の推定飛距離を表示します。

設定場所について

例 1



- ※ 上図のように、本体を捕手の斜め後方（打者の反対側）からバットスイング位置に向けて設置します。（安定した検出を行うために、机などの台やカメラ用三脚を使用した設置をおすすめします。）
- ※ 捕手の陰になる場所に設置すると、検出できないことがあります。
- ※ 打者から本体の距離は、約 5m 以内に設置してください。（バットやボールの大きさ・材質などにより、検出できる距離は異なります。）
- ※ 投球・打球が使用する人や本体に当たらぬよう、設置場所や周囲の状況に十分ご注意ください。

■ 使用方法

4-1 スタート/ストップボタンを押す



打撃動作が行われるたびに、検出した速度を表示します。(初期値:[連続])

※ 検出後、速度表示が点滅から点灯に変わり、検出結果が更新されたことをお知らせします。

※ 検出を終了させる場合は、スタート/ストップボタンを押してください。

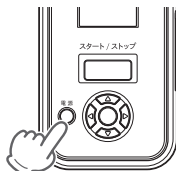
打者の動作条件により、検出結果の表示内容が次のように異なります。

打者の動作	表示内容
・ 球を打ち返したとき ・ ノックをしたとき	バットスイング速度(バット)、打球の初速度(打球)、打球の推定飛距離(飛距離)
・ 球を空振りしたとき ・ 素振りしたとき	バットスイング速度(バット)

- ・ バットの場合、ゴルフクラブのような電波を反射しやすい大型の突起部分がないため、検知(反射)部位を一定させることが困難となります。一定のスイングであっても、検知ごとに数値が異なることがあります。
- ・ 飛距離表示は、「打球の角度：45 度」、「打点の高さ：1m」の条件で、打球の速度から目安とする飛距離を算出します。
- ・ 検出結果は、記録ナンバーとともに本体に 200 件まで記録されます。
- ・ 電池を取り外したり、電池が消耗しても記録は消去されません。
- ・ 本体に記録された検出結果を SD カードに保存することができます。(P.31「記録保存(SD)」)
- ・ ゴロやポップフライなどの打球は、正しく飛距離表示できません。
- ・ センター方向への打球を基準にしています。一塁方向や三塁方向への打球は、誤差が大きくなったり、表示できない場合があります。

5. 電源 OFF

5-1 電源ボタンを2秒以上長押しする



2秒以上長押し

電源OFFになり、画面が消灯します。

※ 電源ボタンを2秒以上長押しで電源ON/OFFします。

設定メニューの表示方法

各モードの設定メニューより、検出方法などの各種設定を行うことができます。

※ 液晶の画面を見ながら、ボタン操作で行います。

※ スタート / ストップボタンを押すと、設定メニューが解除され検出開始状態になります。(※システム設定は除く)

※ 検出中は、設定メニューを表示させることはできません。

1. 設定メニューを表示する

■ A：設定メニュー | ピッチングモードの表示方法

A-1 ピッチングモードで、▷(右ボタン)を押す



・ピッチングモードの表示方法は
● P.21を参照
ください。

設定メニュー (ピッチングモード) を表示します。

■ B：設定メニュー | バッティングモードの表示方法

B-1 バッティングモードで、▷(右ボタン)を押す



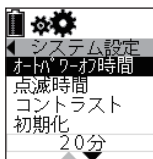
・バッティングモードの表示方法は
● P.21を参照
ください。

設定メニュー (バッティングモード) を表示します。

■ C：システム設定メニューの表示方法

C-1

検出モードの選択で、[システム設定]を選択して○(セットボタン)を押す



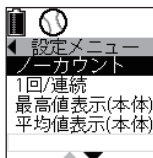
・検出モードの詳細は ● P.21を参照ください。

システム設定メニューを表示します。

設定項目一覧

1. 設定メニュー | ピッチングモード

ピッチングモードに関する設定を行うことができます。

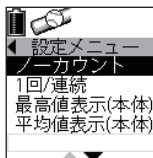


設定項目	説 明
ノーカウント	「実行」を選択すると、最新の検出結果を消去します。 検出結果を記録したくない場合にご使用ください。
1回/連続	検出方法を選択することができます。(初期値：[連続]) 1回：スタート/ストップボタンを押し(検出開始)、1回の速度表示を行って検出を終了します。 連続：スタート/ストップボタンを押し(検出開始)、再度、スタート/ストップボタンを押すまで、速度検出を行います。
最高値表示 (本体)	本体に記録されている初速、終速、区間の最高値を表示します。
平均値表示 (本体)	本体に記録されている初速、終速、区間の平均値を表示します。
記録表示 (本体)	本体に記録されている検出結果を記録ナンバーとともに表示します。 ※ △▽ (上下ボタン) を押して、記録内容の画面を切り替えます。
記録保存 (SD)	「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果をSDカードに保存します。 ※ 保存する際は、あらかじめ本体にSDカードを取り付けてください。(● P.14) ※ 最大 200 件までの検出結果を 1 つのファイルとして、100 ファイルまで保存できます。(保存ファイル名：「mst1b100m.m1d」～「mst1b199m.m1d」) ※ 100 ファイルを超えた場合、最後に保存したファイル(mst1b199m.m1d) に上書きされます。 ※ 保存したファイルは、MST-1 データ管理ソフトをインストールしたパソコンで確認することができます。(● P.18)

設定項目	説 明
記録消去 (本体)	「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果を消去します。消去すると、元には戻せませんのでご注意ください。
最低球速設定	速度表示の最低値を設定することができます。 30 ～ 80km/hの範囲から1km/h単位で設定できます。 (初期値：[30km/h]) ※   (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。 ※ 捕手から投手への返球 (速度の遅い投球) などを表示させたくないときに有効です。
斜め方向補正	本体の角度補正を行うことができます。本体の設置位置 (角度) によって、検出結果の値に大きな誤差があると思われる場合にご利用ください。(角度による速度検出の影響については  P.17 を参照ください) 0 ～ 20度の範囲から1度単位で設定できます。 (初期値：[0度]) ※   (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。 ※ 1度以上に設定した場合、液晶画面に  が表示されます。

2. 設定メニュー | バッティングモード

バッティングモードに関する設定を行うことができます。

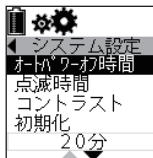


設定項目	説 明
ノーカウント	「実行」を選択すると、最新の検出結果を消去します。検出結果を記録したくない場合にご使用ください。
1 回 / 連続	検出方法を選択することができます。(初期値：[連続]) 1 回：スタート/ストップボタンを押し(検出開始)、1 回の速度表示を行って検出を終了します。 連続：スタート/ストップボタンを押し(検出開始)、再度、スタート/ストップボタンを押すまで、速度検出を行います。
最高値表示 (本体)	本体に記録されているバットスイング速度(バット)、打球の初速度(打球)、推定飛距離(飛距離)の最高値を表示します。
平均値表示 (本体)	本体に記録されているバットスイング速度(バット)、打球の初速度(打球)、推定飛距離(飛距離)の平均値を表示します。
記録表示 (本体)	本体に記録されている検出結果を記録ナンバーとともに表示します。 ※ Δ ∇ (上下ボタン) を押して、記録内容の画面を切り替えます。
記録保存 (SD)	「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果をSDカードに保存します。 ※ 保存する際は、あらかじめ本体にSDカードを取り付けてください。(● P.14) ※ 最大 200 件までの検出結果を 1 つのファイルとして、100 ファイルまで保存できます。(保存ファイル名：[mst1b100m.m1d]～[mst1b199m.m1d]) ※ 100 ファイルを超えた場合、最後に保存したファイル(mst1b199m.m1d)に上書きされます。 ※ 保存したファイルは、MST-1 データ管理ソフトをインストールしたパソコンで確認することができます。(● P.18)
記録消去 (本体)	「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果を消去します。消去すると、元には戻せませんのでご注意ください。

設定項目	説 明
最低球速設定	打球速度表示の最低値を設定することができます。 30 ～ 80km/hの範囲から1km/h単位で設定できます。 (初期値：[30km/h]) ※   (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。
斜め方向補正	本体の角度補正を行うことができます。本体の設置位置 (角度)によって、検出結果の値に大きな誤差があると思 われる場合にご利用ください。(角度による速度検出の影 響については  P.17を参照ください) 0 ～ 20度の範囲から1度単位で設定できます。 (初期値：[0度]) ※   (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。 ※ 1度以上に設定した場合、液晶画面に  が表示されます。

3. システム設定メニュー

結果表示の時間や初期設定など、すべての検出モードにおいて共通の設定を行うことができます。



設定項目	説 明
オートパワー オフ時間	検出していない状態や本体ボタン操作が行われないと、自動で電源が切れる時間0～60分の範囲から1分単位で設定することができます。(初期値：[20分]) ※ [0分]に設定した場合やACアダプターを使用しているときは、オートパワーオフが無効になります。
点滅時間	ピッチング/バッティングの検出結果表示(点滅時間)を0～10秒の範囲から1秒単位で設定することができます。(初期値：[3秒]) ※ [0秒]に設定すると、点滅しません。
コントラスト	液晶表示の濃さを[うすい][ややうすい][ふつう][やや濃い][濃い]から選択することができます。(初期値：[ふつう])
初期化	「実行」を選択すると、すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。
システム情報	本体ソフトウェア、Bluetoothソフトウェア、本体の認識番号を表示します。

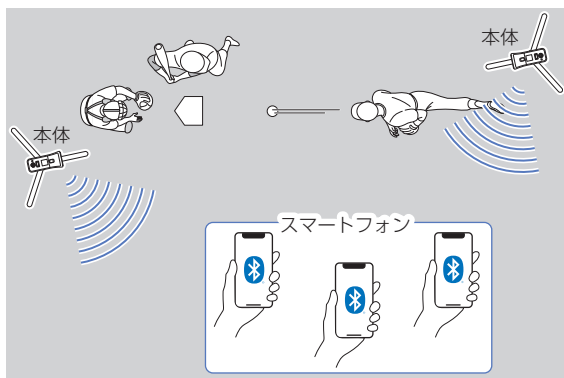
専用アプリについて

専用アプリ「BSG App」を使用することで、検出結果をスマートフォン等で確認することができます。

データの送信には Bluetooth を使用しますが、本機は事前にペアリングの必要はありません。測定完了時に端末へ自動送信されます。

※ 本機は電源 ON/OFF に連動して Bluetooth も自動で ON/OFF します。

使用イメージ



1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ「BSG App」をスマートフォン等にインストールします。インストール方法/対象機種/使用方法は、下記 QR コードまたは弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/app/bsg-app/>



故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源 ONにならない

- ☐ 乾電池が消耗していませんか。
電池残量表示を確認し、 (少ない) 場合は、新しい電池と交換してください。(👉 P.12)
- ☐ 乾電池が正しく入っていますか。

ボールの初速度、終速度が表示されない

- ☐ 投手または捕手から本体の距離は30 m以内ですか。
- ☐ 本体は投手または捕手の影になる場所に設置されていませんか。

バットスイング速度、打球の初速度が表示されない

- ☐ 打者から本体の距離は5 m以内ですか。
- ☐ 本体は投手または捕手の影になる場所に設置されていませんか。

検出結果の数値にばらつきがある

- ☐ 安定した検出のために、机などの台やカメラ三脚を使用した設置をお勧めします。(👉 P.17)

操作ができなくなった(フリーズして操作ができなくなった)

- ☐ 本体から一度電池を抜き、正しくセットした後にもう一度電源 ON してください。(👉 P.11)

専用アプリに検出結果が表示されない

- ☐ お使いのスマートフォン等がBluetooth LEに対応していますか。
- ☐ 測定は完了していますか。
測定完了時にスマートフォンへ自動送信します。

仕様

外形寸法	83(幅)×64(高さ)×180(奥行)mm(突起物含まず)	
本体重量	約379g(電池含む)	
保護構造	IP53(防塵・防雨形)準拠	
Bluetooth	通信規格：Bluetooth Low Energy	
	使用周波数：2.4GHz 帯	
マイクロ波 センサー	適合技術基準	特定小電力無線局 移動体検知 センサー用無線設備
	センサータイプ	ドップラーセンサー
	発振周波数帯	Kバンド 24GHz 帯
検知距離目安	[ボール(野球軟式球)]：約30m [バット(金属バット)]：約5m	
測定範囲	[ピッチングモード]：30(32 [*])～200(213 [*]) km/h [バッティングモード]：50(53 [*])～200(213 [*]) km/h ※ 斜め角度補正を最大値の[20度]に設定した場合。	
電源電圧	6V(単3形アルカリ乾電池4本使用)	
電池寿命	約20日(連続使用で約20時間) ※ 1日1時間使用した場合。	
外部電源	DC5V出力(ACアダプター：AC100V)	
動作温度範囲	－5℃～＋50℃	
製品保証期間	1年(消耗品は除く)	

- ・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
- ・App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- ・Google Play ロゴは、Google LLCの商標です。
- ・「Bluetooth®」、「Bluetooth Low Energy」は、Bluetooth SIG, Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用アプリは
随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホーム
ページでご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.